|  |  |
| --- | --- |
| **本事業で開設したプログラム(a:求職支援)**【①～⑤合わせてプログラム毎に3ページ以内】  ○複数のプログラムを開設する場合は、様式を複製の上プログラムごとに作成してください。 | |
| **①プログラム名称** | |
|  | |
| **②プログラム責任者** | |
| （職名） | |
| **③プログラム受講者の募集方法・見込み数と実際の受講者数** | |
| 【実施した募集方法】  　（例）ハローワークからの紹介、Web募集、地域誌掲載　等具体的に記載すること。  【プログラム受講者見込み数と実際の受講者数】  　　○名（主な受講者の想定　失業者、非正規雇用労働者、転職希望者等） | |
| **④教育内容（授業科目等）及び教育方法** | |
| 【プログラムの内容】 | |
| 目的・概要 | 失業者等の学び直しを推進するため、本事業においてどのようなプログラムを開設したのか概要を記載してください。既存のプログラム等をカスタマイズした場合は、どの箇所が新規要素であるか明確に記載願います。 |
| 総授業時数・期間 | １か月60時間以上かつ２か月以上６か月以内 |
| 職業の種類 | （例）○○における○○の担当者、○○に従事する者、○○であり○○を目指す者  厚生労働省編職業分類（https://www.hellowork.go.jp/info/mhlw\_job\_dictionary.html）を  参考に記載してください。 |
| 修得した能力 | ■身に付けた知識、技術、技能  　（例）○○に関する知識　○○の技術、技能  ■得られた能力  　（例）○○できる能力　○○の能力 |
| 構築した教育課程 | （例）  ○○学＜科目＞や△△論＜科目＞等により基礎的な～～に関する知識を修得するとともに、△△実習Ⅰ（Ｘ時間）＜科目＞において～～の実験、□□学＜科目＞において～～の実地調査やグループ討議を行うこと等により、～～に関する知識・技術を修得させる。その過程において、特に～実践的な授業方法等（例えば、実験や実地調査、グループ討議等）を行うことにより、～～能力を修得させる。 |
| 修了要件（修了授業時数等）と修了者数 | ○単位以上の取得（○○時間以上の履修）、○○の提出及び審査の合格  【修了者数　○名】 |
| 修了者の状況に係る効果検証結果 | 修了者に対し、○○や○○を実施し、その結果を○○することにより効果を検証した。その結果は○○であった。 |
| 実際に取り入れた企業等の意見とその成果 | （教育課程の編成）  ○○及び○○により組織する○○委員会（会議）において、○○することにより教育課程の編成に企業等の意見を○○な形で取り入れ、○○のような教育課程を編成した。 |
| 社会人が受講しやすい工夫とその成果 | （社会人が受講しやすい工夫）  （例）夜間、土日やeラーニング、短期集中開講等  工夫した結果、社会人の受講に変化があったかどうか簡潔に記載すること |
|  | |
| 【授業科目一覧】   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 分類 | 科目名 | 授業時数 | 対面･遠隔 | 企業等 | 双方向 | 実務家 | 実地 | 担当教員･  実務家名 | 受講者数 | | 必須 | ○○論 | 4 | 遠隔 |  |  |  |  | ○○　○○ | 35 | | 必須 | ○○実習 | 3 | 対面 |  | ○ | ○ |  | ○○　○○ | 20 | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   ※欄が不足する場合は、適宜追加してください。  【実施した教育方法】  （例）  ①　実務家教員や実務家による授業  ②　双方向若しくは多方向に行われる討論（ワークショップ）  ③　実地での体験活動（インターンシップ、現地調査等）  ④　企業と連携した授業（フィールドワーク等） | |